

## 第六次高山村総合計画後期基本計画策定に係る提言書

グループ	メンバー名
A	林勇作、名倉健治、山寄海土、西川紘未、藤澤千尋

### 提言 1

次世代の”たかやま”を創造していけるような戦略的な複合拠点施設の整備について

#### 【概要説明】 趣旨・意図等

◎様々な能力を持った村民が結集できる場づくり

##### 〔現状〕

- ① ワインや果物など地場製品の販売や観光拠点として村外の人とのコミュニケーションをする場がない
- ② 農業や観光資源を活かした商品開発やツーリズムの発展に繋げていく場がない
- ③ 0～18歳の子もたちが世代を超えて交流できる場がない
- ④ 地域の中でコミュニティを支援していく仕組み、分野を超えて交流を行える場がない

##### 〔取り組み〕

各々のアイデアやスキルを活かし、一般社団法人への法人化、村行政と共同によるプロジェクトの推進

※詳細は補足資料をお読みください

##### 〔整備する場所の提案〕

A 案・高山りんご共撰所跡地

B 案・高山りんご共撰所跡地、ニツ石地区、旧山田共撰所跡地

C 案・YOU 游ランド(再開発)

※詳細は補足資料をお読みください

#### 【イメージする将来の姿】

◎多様な機能を一カ所に集め、連携し、相乗効果を生むことで、高山村の全ての世代が関わることのできる場所づくりができていく

- ① 村民や事業者が、村が良くなっていると実感できる村づくりができていく
- ② 子どもや大人、事業者も「村が良くなっている」と実感できる村づくりができていく
- ③ 子どもが生き生きと学び、暮らせる環境を村全体で育むことができていく
- ④ それぞれの「やりたい」を村の多様な魅力に広げることができていく

■ 提言書を基として様々な課題が多く有るが、以下提案において村民の満足度、意欲の向上に資すると考えています。

## 課題・問題点

- ・ 特産品の販売場所、村外の人とコミュニケーションをとれる観光拠点がない
- ・ 地域内の世代間交流を行なえる場所がない
- ・ 生活必需品を購入できるスーパーがない
- ・ 観光施設の老朽化への対応不足
- ・ インバウンド需要への取組み不足（ホームページ外国語対応、SNS活用等）
- ・ 人口減少への対応不足（移住政策が不十分等）

### 複合拠点施設の検討 p5~参照

#### 行政

村の行政だけでは財政も限られる  
行政主導の営利目的での施設運営は現実的ではない

#### 民間

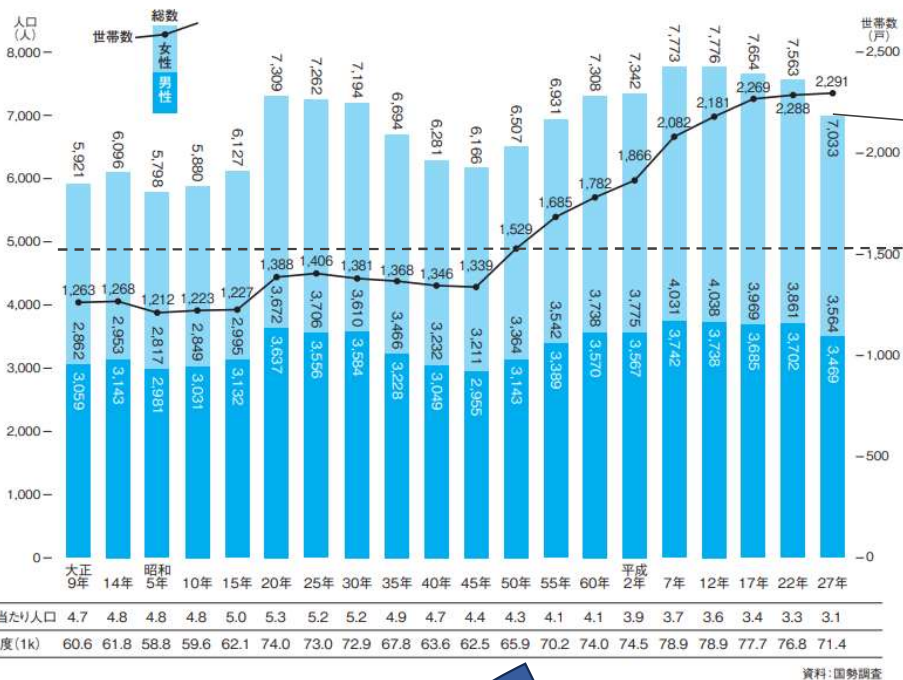
官民連携事業として助成制度を活用した運用の検討  
をしてみてもどうか（他自治体で実施例あり）

# 人口推移と村の今後

全国的に同様の問題は有るが、何もせず何も無い村と言われ続けるのか、人口は減りつつも新しい取組みで村を発展させるか、真剣な議論が求められます。

## 人口

■人口と世帯数の推移



人口段階別市区町村の変動(2015→2040)[H30推計]

人口増減率(2015年→2040年)	人口増加	人口減少
増加	10%以上	10%以上
減少	10%以上	10%以上

令和6年度比約2.5割減  
限界集落が増え、行政の負担増が予測される

■潜在的な移住希望者は一定数有るが需要を取込めていない  
■商店(スーパー等)不足や交通インフラの不便さにより都市部や他市町村への転出超過に歯止めがかからない

■次世代・子育て世代の声に耳を傾け、100年後も見据えた長期視点での村のカタチを考えるべきではないか

# エリア別課題

- 中心エリア：機能を集約したコンパクトシティの形成
- 温泉・牧場エリア：拠点を窓口とした現代需要に合わせた合意形成（現状、なかなか意見がまとまらない）



## 【中心エリア】

商業地・住宅居住地があり、主要エリアであるがまとまりがない  
活気を生み出す核となる商業施設が無い

## 【温泉エリア】

蕨温泉含む歴史や風情ある温泉宿を中心に来訪客があるが、若年層やインバウンド需要を取込められていない

## 【牧場エリア】

牧場やタコチコース目的のスキー客来訪はあるが  
スキー需要の減少・各宿泊施設の老朽化や廃業は避けられない

「補助金投入で存続させる」ではなく、拠点施設を基に3つのエリアの相乗効果をもって「稼ぐ考え方で存続・発展していく」考え方へ

# 分野別の位置づけ



「村が良くなっている」と実感できる村づくり

## 村外の人

- ワインや果物など地場産品の販売や観光拠点として村外の人とのコミュニケーションを増やす



「村が良くなっている」と実感できる村づくり

## 村の資源

- 農業や観光資源を活かした商品開発やツーリズムの発展に繋げていく



## 複合拠点施設

多様な機能を一箇所に集め連携し相乗効果を生む

全世代が関わる  
ことができる場所

## 学童・子育て支援

- 18歳以下の子供たちのための環境を官民連携して充実させる

子供が生き生きと学び、暮らせる環境を村全体で育む

## 村民による活動

- 分野の分け隔てなく、これからの村で活躍する次世代の育成に繋いでいく

それぞれの「やりたい」を村の多様な魅力に広げる



地域交流  
イベント



# 提案資料：A案

検討地① それぞれの機能を集約した施設化

検討エリア①：高山りんご共撰所跡（予定）地



在住者・来訪者  
向け拠点施設

- ・高山村産品直売所
- ・小売りスーパー
- ・観光案内所
- ・食堂
- ・カフェ
- ・巡回バス周回地点
- ・防災拠点
- ・子育て交流スペース
- ・子供の遊び場
- ・多目的フリースペース
- ・コワーキングスペース
- ・公民館機能
- ・加工所
- ・図書室

利点：1カ所で複合施設化できる

課題：施設面積の狭さ（施設＋駐車場）

## 提案資料：B案

みらいビジョン会議 グループA

検討地①②③それぞれ機能を分けた拠点、仕組みづくりを行う

### 検討エリア①：高山りんご共撰所跡（予定）地



#### 在住者向け施設

村内において交通の要の立地であり、須坂駅からのバスと巡回バスの接続運用が可能ではないか

- ・子育て交流スペース
- ・子供の遊び場
- ・多目的フリースペース
- ・コワーキングスペース
- ・加工所
- ・公民館機能
- ・図書室
- ・巡回バス周回地点
- ・防災拠点

### 検討エリア②：上高井郡高山村二ツ石地区



#### 来訪者向け施設

景観が良く県道沿いの好立地

- ・高山村産品直売所
- ・小売りスーパー
- ・観光案内所
- ・食堂
- ・カフェ
- ・巡回バス周回地点
- ・防災拠点

課題：地主及び園主への丁寧な説明と樹園地の買取り等が必要

## 提案資料：B案

みらいビジョン会議 グループ A

機能に特化した農業関連施設化

検討エリア③：山田共撰所跡地



農産物加工施設  
農産物直売所  
高山村産 蕎麦店

- ・ 村内外の農業生産者が利用できる農産加工施設
- ・ 高山村産品直売所
- ・ 高山村産そばを主体とした蕎麦店※

※高山村産そばを基本とすることで耕作放棄地や未利用地の利活用に繋がる



- 村内人材の雇用創出
- 加工施設は村内外の生産者を対象とし、収益性の高い事業として計画
- 信州新町の道の駅内の蕎麦店を参考

↳ コスパの良い蕎麦を目当てに平日休日を問わず多くの集客が有り、農産物等の販売も順調



## 提案資料：C案

みらいビジョン会議 グループA

検討地③ それぞれの機能を集約した施設化

検討エリア③：YOU游ランド（再開発）



在住者・来訪者向け  
拠点施設

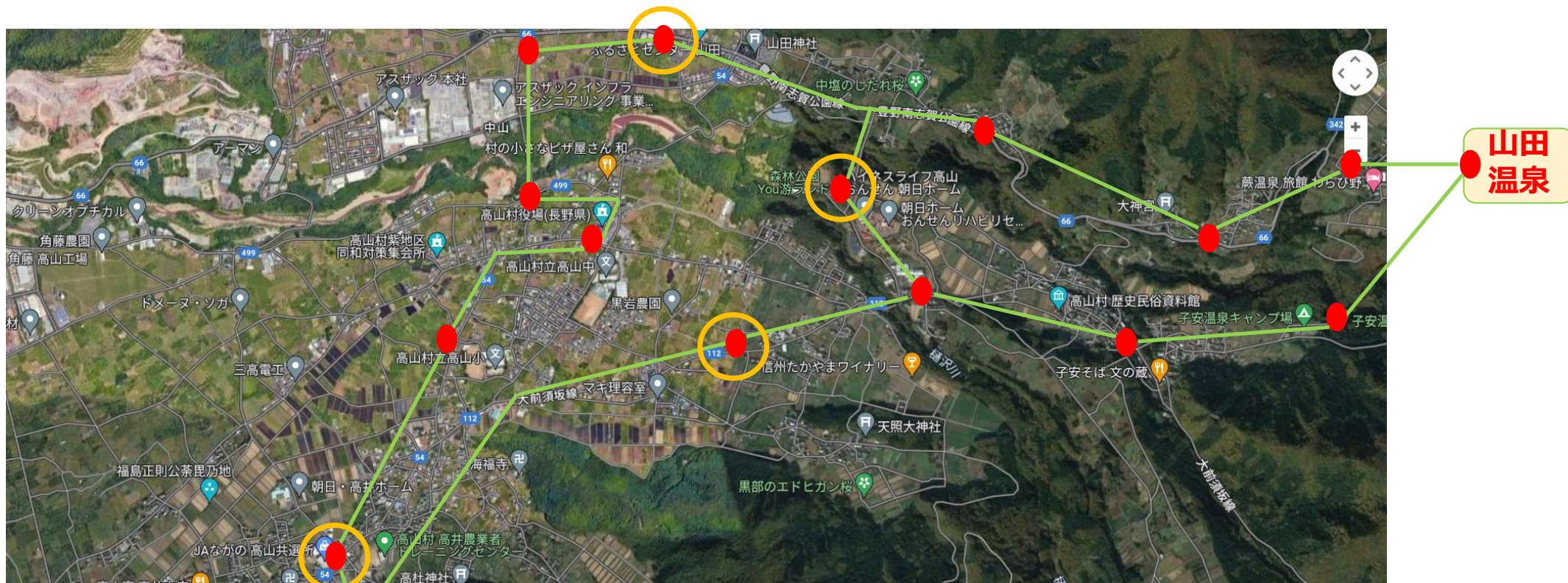
- ・高山村産品直売所
- ・小売スーパー
- ・観光案内所
- ・食堂
- ・カフェ
- ・加工所
- ・巡回バス周回地点
- ・アスレチック
- ・子育て交流スペース
- ・子供の遊び場
- ・多目的フリースペース
- ・コワーキングスペース
- ・図書室
- ・防災拠点

利点：多機能化した施設設計が可能であり、1カ所で複合施設化できる  
課題：県道から奥まった立地のため商業的に難しい側面が有る

## (参考) 提案資料：村内巡回バス運用

みらいビジョン会議 グループ A

### 自動運転バス等、未来志向の交通手段の検討



久保  
水中

山田  
温泉

- ・ 検討エリアや各集落へ巡回バス停留所を設置
- ・ 未成年者や高齢者等の交通弱者が利用し易い仕組みづくりが必要

# 今後の行政と私たちのかわり

## ■官民連携を前提とした事業計画の推進

### 村行政

プロジェクトを専門にした**部署創設**、  
人員の配置

### 私たち

各々のアイデアやスキルを活かし、**一般社団法人への法人化**※(次10頁にて)、  
行政との共同事業プロジェクト推進

協力と理解を得るための計画と丁寧な説明

- ・ **村民**
- ・ **村内外事業者**
- ・ **国、県、他自治体**

これを機とした参加意欲の醸成、事業発展への意欲

近隣地域間連携での相乗効果を含んだ協力、国や県の助成金等の利活用

内閣府の**地方創生推進交付金制度**、農水省の**中山間地域農業農村総合整備事業**や**農村RMO**、県の助成制度の活用を検討してはどうか

# 一般社団法人化について

## ■官民連携の概要とガバナンスの構築

**私たち村民：**一般社団法人において代表理事、理事、社員として新たに組織

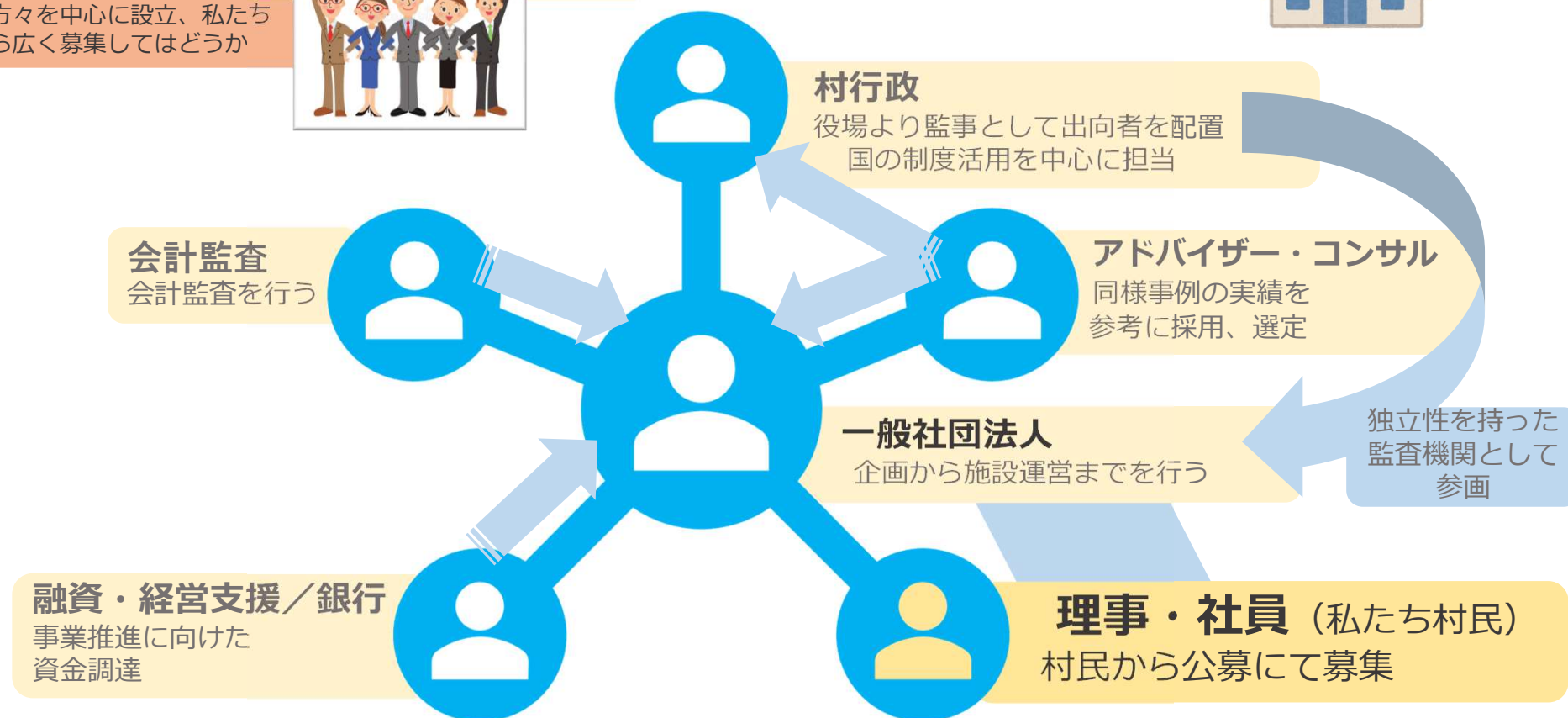
※やる気のある方々を中心に設立、私たちに限らず村民から広く募集してはどうか



**高山村行政**

担当部署の設置、人員の配置

**村役場**



# 制度活用事例

## デジタル田園都市国家構想交付金 地方創生拠点整備タイプ



令和5年12月

内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局  
内閣府 地方創生推進事務局・地方創生推進室

### 地方創生拠点整備タイプの概要

- > 観光や農林水産業の振興等の地方創生に資する拠点施設の整備などを支援。
- > 「民間事業者の施設整備に対する間接補助」について、R5年度においては6自治体・7件の活用あり。

### 地方創生拠点整備タイプの概要

事業類型	対象	上限額(※) 補助率
当初予算分	原則3年間の事業	国費： 都道府県15億円 中核中核都市10億円 市区町村5億円 補助率：1/2
補正予算分	半年度の事業	国費： 都道府県15億円 中核中核都市10億円 市区町村5億円 補助率：1/2

(※) 1団体当たりの交付上限額(目安)、高い先駆性や地方創生の波及効果が見込まれる場合には、交付上限額(目安)を超えて必要な経費を交付できるものとする。  
(注1) 申請し得る事業数は以下のとおり。  
当初予算分：2023～27年度(第1田舎戦略の期間)を通じて1事業  
補正予算分：1事業

<拠点整備タイプにおける拡充> R4補正から導入  
～民間事業者の施設整備に対する間接補助～  
民間事業者等が一定の要件を満たす公共性・公益性を有する拠点施設等を整備する取組に対し、地方公共団体が整備費の全部又は一部を補助した場合に、国が当該補助経費の1/2を交付することを可能とする。



<支援対象となる施設整備の採択例>  
・移住や生活体験住宅として活用する集合住宅の整備  
・観光客を呼び込むカフェ・レストラン、スマート農業体験施設等を整備  
・観光施設の一部を利権貸し借民営化のワークスペースを確保  
・物販、カフェ、セミナースペース等の観光施設の整備、等

### (参考) 地方創生拠点整備タイプの採択事例集

- > 地方創生拠点整備タイプについて、制度の概要や採択事例のポイントを整理した事例集を作成(内閣府HPにおいて公表)。
- 申請にあたっては、本事例集も参考にいただき、ご検討いただくをお願いします。【今後、随時更新予定】

(参考) 内閣府HP「デジタル田園都市国家構想交付金 地方創生拠点整備タイプ 採択事例集」

[https://www.chisou.go.jp/sousei/pdf/r5\\_katuyoujirei-kyoton.pdf](https://www.chisou.go.jp/sousei/pdf/r5_katuyoujirei-kyoton.pdf)

例：長野県豊丘村  
■県内でも実際に活用実績のある自治体がある

(事業名：「道の駅」を核とした観光戦略拠点整備計画)

### 地方創生拠点整備タイプ 採択事例 <道の駅関連>

<道の駅関連>

**兵庫県南あわじ市 (R5当初)** **観光分野**

～道の駅「うすお」をリニューアル～  
道の駅「うすお」において、過激な眺望・パノラマ等に配慮した中核的な観光拠点として再整備し、施設内のレストラン及び物販施設で地場産品の提供、市内内道の促進、サウナ・グリーンなどの促進などを通じて、地域活性化、観光交流人口の拡大を図る。  
(事業名：道の駅「うすお」を核とした地域活性化拠点整備事業、事業年度：R5～R6)

**栃木県那須塩原市 (R4補正)** **観光分野**

～道の駅「明治の森・黒磯」をリニューアル～  
道の駅「明治の森・黒磯」をリニューアルし、市の特産品である牛乳を原料としたバターや焼き菓子等の独自商品の製造・提供を行う「マルシェのほかに」をスタートし、多目的スペース、テラス等を設け、市内観光と農業の発展に寄与する食の魅力を発信する拠点施設を自費とともに、観光客の増加や地域農産物のブランド化による農家の収入増加と担い手の確保を図る。  
(事業名：道の駅「明治の森・黒磯」整備事業)

**長野県豊丘村 (R元補正)** **観光分野**

～道の駅に隣接した観光戦略拠点施設を新設～  
平成30年にオープンした道の駅「南信州とよかみルシェ」に、「観光地域づくり」をコンセプトとし、観光客を推進するための観光ツアーやメニューの企画・開発・導入を行う拠点施設を整備する。具体的には、道の駅の運営会社に新たに企画部門を設けるとともに、村が主体として(一財)豊丘村観光協会を設置し、同施設において、企画が受け入れられて一貫して行う。  
また、レンタル事業を実施するための駐輪場、洗い場付休憩所を設置し、地域内観光の促進を図る。  
(事業名：「道の駅」を核とした観光戦略拠点整備計画)

**岩手県一関市 (R5当初)** **農林水産分野**

～道の駅新設に併せて産産・物販機能等をもった施設を整備～  
新たに整備された国道沿いに、産産、物販、レストラン等の機能を果たす道の駅を整備し、地元農産物を使った新商品やレストランメニューの開発等に結びつけ、農産物の高付加価値化を推進し、地域の活性化を図る。  
(事業名：「道の駅」を核とした観光戦略拠点整備計画)

### 地方創生拠点整備タイプ 採択事例 <スタジアム・アリーナ関連、子育て支援施設関連>

<スタジアム・アリーナ関連>

**富山県奥水市 (R2当初)** **まちづくり分野**

～クラブハウス・フィットサル場を新設、人工芝グラウンドを造成～  
交流人口の拡大による賑わいの創出に繋げるため、フットボールセンターを整備する。特徴的な設備として、ローカル5Gを活用したAIカメラを設置し、UEFAでの指導や選手の動作解析等を可能にする。また、全日本規模の大会や合宿の誘致を目的とする。  
また、市内外のプロスポーツ団体や企業と連携して実施する各種スポーツ教室の誘致や、フライングディスクなど年齢や体力に関わらず誰もが楽しめるユーススポーツに関するイベントの開催など、新たなスポーツビジネスによる雇用の創出や若者の定住を促進する。  
(事業名：スポーツ施設を核とした地域活性化事業、事業年度：R2～R3)

**宮崎県 (R3補正)** **観光分野**

～屋外型トレーニングセンターを新設、グラウンドを造成～  
宮崎県の強みを活かして、経済効果の大きいスポーツ観光の強化を図るため、サッカーやラグビー等のプロスポーツに対応したグラウンドの新規造成及び屋内型グラウンド、クラブハウス等を整備する。  
本施設の整備を通じてスポーツチームの新規誘致を行い、第1次産業も含まれた県内への更なる経済効果の増加を目指す。また、国のナショナルトレーニングセンターの指定やアマチュアスポーツの合宿や各種大会の誘致に取り組みることにより、年間を通じて利活用と繋げる。  
(事業名：屋外型トレーニングセンター整備事業)

<子育て支援施設関連>

**兵庫県加西市 (R2補正)** **働き方改革分野**

～子育て世代のための複合施設として空き店舗をリノベーション～  
子育て世代が子どもを遊ばせながら過ごすことができるテラコセンターと一時預かりもできる屋内型遊戯施設を併設した施設を整備することになり、ホストコトバ時代のモトワークなど、新しい働き方を提案する。  
(事業名：ホストコトバ時代の新しい働き方拠点整備事業)

**奈良県三郷町 (R5当初)** **地方への人の流れ**

～大学跡地を木育をテーマとした複合施設にリノベーション～  
奈良学園大学跡地に木育をテーマとした交流体験型ミュージアムや児童書を讀んだライブラリーカフェ、障がい者アートの展示ギャラリーなど、子育て世代を中心とした全年齢層が楽しめる施設を整備を行い、施設での高齢者、障がい者雇用を通じて多世代交流の場とし、交流人口の拡大を図る。  
(事業名：木育型交流型インクルーシブ施設整備事業、事業年度：R5～R6)

## 各ステークホルダーについて

### ■高山村全体を企業体として見立てた場合のステークホルダー各々のメリット

#### 村外からの旅行者

- ・高山村に行ってみたくなる ・良い口コミ増
- ・村で宿泊、購買意欲が沸き消費したくなる
- ・村への満足度向上 ・移住したくなる

#### 村外の事業者

- ・高山村にお店を出したい ・投資をしたい
- ・閉鎖した建物を利活用したい
- ・再開発して事業を拡大させたい

#### インバウンド

- ・高山村に行ってみたくなる ・良い口コミ増
- ・2回目以降の日本への候補地になる
- ・日本への満足度向上 ・次も来たい

#### 高山村村民

- ・事業者の意欲向上
- ・観光事業者の不安解消 ・農業者の意欲向上
- ・子供たちがもっと元気になる ・不登校の解消
- ・子育て世代、高齢者の不安解消 ・村に自信が持てる

#### 行政

- ・各種施策打出しの多様化
- ・移住者が増える ・税収が増える
- ・最も美しい村のPR ・耕作放棄地問題解消
- ・村政の安定 ・職員の安定 ・限界集落が減る
- ・やりがいが増える ・行政に活気が出る

#### 国・県・近隣自治体

- ・地域間連携の加速、エリアにおける相乗効果
- ・コンパクトシティ化の促進

メリットを踏まえ

魅力溢れる拠点を軸に、村民が生き生きと生活でき、高山村として  
**将来の世代に持続可能な形をつないでいくこと**を考える良い機会ではないか

# 大切なこと

みらいビジョン会議 グループ A

## 時代に合わせた成長戦略と仕組みづくり



**ただ造って終わり  
ではなく、  
持続的に人が集  
う体系、仕組み  
づくりが最重要**

平常時と災害時のどちらのフェーズ（局面）でも利用できる  
「フェーズフリー施設」として大きな価値が有るのではないか

## 参考例(イメージ図)：全国各地の拠点施設

みらいビジョン会議 グループ A

新潟県五泉市



奈良県三宅町



東京都町田市



宮城県仙台市



ご清聴ありがとうございました。

